

公園ウォーカー

3

ロケーションばっちり!の公園編

毎回のテーマごとに、おすすめの公園を紹介します。 問合せ/公園緑地課(☎232-9214)



備前堀は、水戸藩初代藩主徳川頼房の時代(1610年)につくられた用水堀。今も地域の水田地帯を潤す農業用水として利用されています。

「歴史ロード」として整備された沿道には、旧町名が残る石柱やいくつもの橋があり、城下町・水戸の雰囲気を感じられそう。毎年8月16日には、先祖の霊を供養する灯籠流しが行われています。



備前堀緑道

場所/本町、紺屋町
広さ/0.24ha 施設/
トイレ、ベンチ、水道
※隣接する七軒町児童公園にあります。

え
画になる景色に飛び込もう。



双葉台公園

場所/双葉台2-5
広さ/2.3ha
施設/トイレ、ベンチ、水道

双葉台団地の中にある公園。「ここにきて体や頭を使いながらおしゃべりするのが楽しくて」と話す地元の皆さん。散歩や運動など、地域の皆さんにとって身近な場所になっています。

広い敷地を活かして、子どもたち向けのイベントも開催。また、住居・商店街・広場などが隣接しており、さまざまな映画の撮影にも利用されています。



すくすくけいじばん



子育てに役立つ情報を紹介します

第5回

文化と知恵を受継ぐ

in わんぱく・みと

—多世代交流会—

▼家族で文化を楽しんで
伝統的な文化を、お父さんと一緒に楽しんでいきますか。「季節行事などを家族みんなで経験してほしい」と話すのは、御年88歳の横溝季代子さんのほか、多世代交流会に参加した皆さん「最近では、三世代以上で同居している家庭が少ないので、昔ながらの文化を教わる機会が減っているのかもしれない」と話します。季節行事や祝い事などを家庭で楽しむことで、「コミュニケーションの幅を広げながら文化を伝えることができます。」

また、童謡をみんなで歌ったこの日。講師の井上文代さんは、「童謡には季節や情景を表す言葉がたくさん使われている。子どもの豊かな心を育むために、童謡をとおして情景を思い浮かべたり、いろいろな感情に触れたりしてほしいと話します。「若いお母さんやお父さんの中には童謡を知らない人も多いのかな」と感じているという皆さん。「子どもたちには、美しい風景の歌や情緒がある歌をたくさん聴いてほしい」と声をそろえます。

▼多世代で「コミュニケーション」を
「分からないことがあれば何でもインターネットで調べられる時代ですが、たまには親や近所の高齢者に話を聞いてみるのもいいと思う」と皆さん。会話をきっかけに、文化だけでなく、子育てのヒントも教えてもらえるかもしれません。



ひとくちメモ

わんぱく・みと、はみんぐぱく・みとでは、さまざまなテーマで多世代交流会を行っています。赤ちゃんから高齢者までが一緒になって交流できます。

子育て支援・多世代交流センターの催しはこちら

- ・わんぱく・みと(大町3、☎303-1515)
- ・はみんぐぱく・みと(本町1、☎302-3662)
- ※催しのスケジュールなど、詳細は、同センターホームページ(<https://www.kosodate-mito.com>)で見ることができます。

